

甲状腺検査 A2 判定結果の追加説明のお知らせ

この通知は、前回お送りいたしました甲状腺検査の結果で、A2と判定されました皆様に対して、追加説明させて頂くものです。

A2判定において、小さな結節（けっせつ、しこりのことです）が疑われるのか、嚢胞（のうほう、液体の入った袋のようなもの）であるのかが、明記されておりました。そこでいずれかに該当するのかを、追加明記してお知らせ致します。小さな結節（しこり）と嚢胞（のうほう）の両者を認める場合は、小さな結節と嚢胞の両者を認めますとして結果をお知らせします。

尚、A2判定とは、小さな結節（けっせつ5mm以下、しこりのことです）もしくはサイズが20mm以下の嚢胞（のうほう、液体の入った袋のようなもの）を認めたものです。A2判定は、A1判定と同様に二次検査の必要がないと判断されるものです

平成24年〇月〇日

福島県立医科大学

放射線医学県民健康管理センター

もしご不明のことがございましたら、県民健康調査センター、電話〇〇〇—〇〇〇—〇〇〇（平日：9時～17時）までお尋ねください。

要検討事項

- ・A2判定の頻度（かなり多いということ）を記載するかどうか？
- ・大きさが基準を満たさなくても、必要な場合にはB判定としていることを説明するか？

■A2 判定結果についてご説明いたします

今回の検査で5mm以下の結節（しこり）の疑いが認められました。5mm以下の結節（しこり）は非常に小さいため、嚢胞（液体の入った袋のようなもの）と厳密に区別することは難しいことがあります。結節（しこり）があったとしても、5mm以下であれば、長期間の経過観察によっても増大することはまれであり、より詳細な検査を行う必要はないとされています。このため、次回（※）の甲状腺検査を受けていただくことで十分と考えます。しかし、検査結果について不安の残る方、万が一、甲状腺の部位にしこりが触れたり、甲状腺の部位が急速に大きくなった場合には、下記までお電話でお問い合わせください。

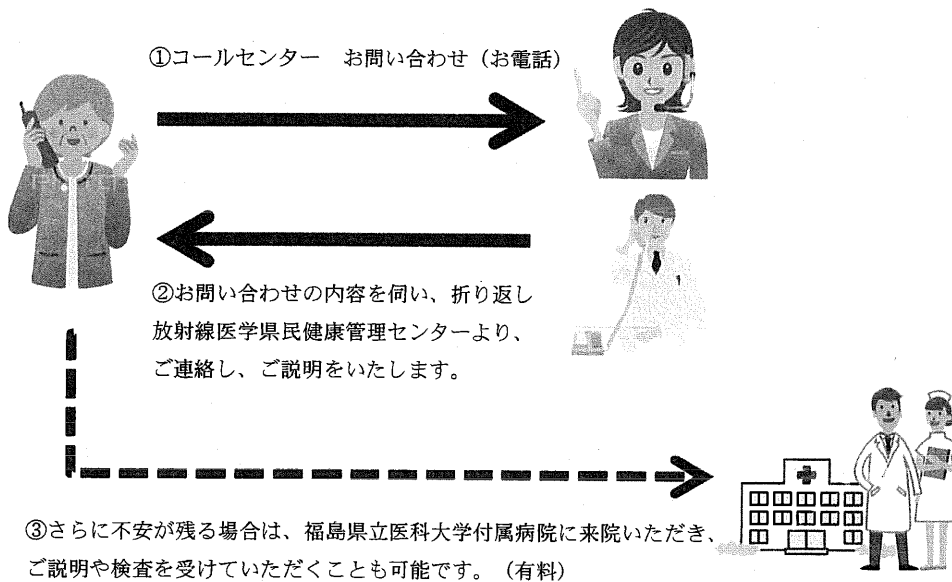
・福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター 「●●コールセンター？」
024-...

※甲状腺検査は今後、平成26年4月以降、20歳までは2年ごと、それ以降は5年ごとに継続して行い、長期的にケアをしてまいります。

コメント [F1]: ここ、文脈、おかしくないですか？

コメント [F2]: 細胞診ではわかりにくくありませんか？
あるいは
より詳細な検査（細胞診）とか...

コメント [F3]: 次回、とは、という疑問に先回りしてはどうでしょうか？



甲状腺細胞診検査 説明書

県民健康管理調査 甲状腺検査（二次検査）

この説明書は甲状腺検査の二次検査において、細胞診検査が必要な方に対して、検査の説明・目的・注意事項等について記載しているものです。内容を十分確認していただき、不明な点がありましたらご遠慮なくご質問ください。

甲状腺細胞診検査

甲状腺細胞診検査とは、甲状腺にある結節性病変（しこり）に細い針を刺して、しこりの内部から細胞を吸い取る検査です。

吸い取った細胞は、顕微鏡で治療が必要なものか否かを判定します。

病名・病態

甲状腺腫瘍

検査の目的・必要性・有効性

甲状腺にある結節性病変（しこり）が、治療が必要なものを判定する検査です。

今回、超音波検査を行った結果、甲状腺診断結節に対する診断基準により、細胞診検査が必要と判定されました。

検査の内容と注意事項

甲状腺にある結節性病変（しこり）に細い針を刺して、しこりの内部から細胞を吸い取る検査で、超音波検査機器でみながら行うこともあります。吸い取った細胞は、プレパラートというガラスに吹き付けて、顕微鏡で判定を行います。しこりの性格などのため、約10%は判定に十分な細胞がとれないこともあります。その際は、後日3回程度までは、検査を繰り返し行うこともあります。

また、下記に該当する方は検査前にお知らせください

1. 血小板減少症、紫斑病の方
2. 抗血小板薬・抗凝固薬（血液をサラサラにする、固まりにくくする）という薬剤（例：バファリン、アスピリン、バイアスピリン、パナル

ジン、プレタール、ワーファリンなど) を服用している方
3. アルコール消毒やラテックスアレルギーのある方

- 検査に伴う合併症・偶発性とその発生率
検査は十分に注意して行いますが、まれに出血、かすれ声(0.036%)、感染、ごくまれに甲状腺全体のむくみが起こることがあります。
- 偶発症発生時の対応
- 代替可能な検査、およびそれに伴う合併症・偶発性とその発生率
代替可能な検査はありません。
- 検査を行わなかった場合に予想される経過
甲状腺結節の殆どは良性のものであり、悪性(癌)であったとしても、急速に大きくなったり進行したりすることは少ないことが一般的です。長期間の経過中には、増大したり、転移をおこすものもあります。
- 患者さんの具体的希望
- 検査の承諾撤回
いったん同意書を提出しても、検査が開始されるまでは、本検査を受けることをやめることができます。
- 連絡先
本検査について質問がある場合や、検査(治療)を受けた後緊急の事態が発生した場合には、下記まで連絡してください。
- 検査中の針刺し等発生時の感染症検査
検査施行中に検査施行者に針刺し起きた場合には、採血をさせていただき、感染症検査をさせていただきます。

[お問い合わせ先]

福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター
電話番号 024-549-5130 (9:00~17:00)

よくある質問と答え

1. 甲状腺細胞診検査とは？

甲状腺にある結節性病変（しこり）に細い針を刺して、しこりの内部から細胞を吸い取る検査です。吸い取った細胞は、顕微鏡で治療が必要なもの否かを判定します。（通常は1～2週間程度要します）

2. 痛みはありますか？

細い針ですが、首の皮膚に刺しますのでちくっとした痛みがあります。首に針をさすので、怖いと思うかもしれませんが、安全にできる検査です。

3. 検査後に気をつけることなどはありますか？

針を刺したところを絆創膏の上から2～3分間はしっかりと押さえておくことが大事です。その後は、食事をしたり、お風呂に入ったりなど特に制限はありません。ごく稀に、検査後に腫れたり、痛みを感じることもありますが、その時は県民健康管理センターに連絡をお願いします。

[お問い合わせ先]

福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター

電話番号 024-549-5130 (9:00～17:00)